

第2回浦和スポーツ塾 「サッカー選手の受傷から復帰まで」 実施報告

日時：2004年11月27日(土) 19時～21時

場所：県立浦和高校同窓会館(麗和会館)

講師：野崎信行(浦和 REDS)

参加：約50名

第2回浦和スポーツ塾は、11月27日(土)19時～21時に、県立浦和高校同窓会館(麗和会館)で、約50名が参加して行われました。

「しっかり立てなければ、歩けない。しっかり歩けなければ、走れない。しっかり走れなければ、飛べない、蹴れない、曲がれない、ましてやサッカーなど行えない」

という、究極とも言える言葉から始まり、およそ1時間、実際にREDSの選手が行っているリハビリテーションの映像などをまじえながら、とてもわかりやすい講義をいただいた後、質疑応答も1時間近くにおよび、熱心に丁寧な説明をしてくださいました。

野崎氏からは、まとめとして、

- ・患部に過負荷をかけないこと
- ・患部外のトレーニングを安全に行わせること
- ・特に、育成年代は、プレーヤーの将来を第一にすること

などを、教示していただきました。

さらに、質疑の中では、

「受傷した選手の心理的なケアにとっても気を使っている」ことや、「小さい頃から、遊びの中でバランスよく体を鍛えていく(動かしていく)ことが大切だということ、とても感じる」ことなど、ご経験に基づく事例などをまじえながら話をしていただき、参加者の方々にはとても参考になったことと思います。

